

四国支部との交流会レポート

9月28日（土）四国支部レディース会主催の行事「金丸座見学・うどん打ち体験」に西中国支部から5人が参加しました。四国支部でこのような興味深い行事を企画されていると聞き、是非、当支部の女性も参加させていただきたいとお願いし、四国支部のご厚意で実現しました。今回は女性の交流とともに、この行事参加により、今後の支部行事の準備・進め方の参考にする事も一つの目的でした。

金丸座は香川県琴平町にあり、1835年建立の現存する日本最古の芝居小屋です。4月の歌舞伎大芝居が四国路に春を告げる風物詩として、テレビ等でもよくとりあげられています。今回、金丸座の専任ガイドとしてご活躍されている松愛会四国支部の岩瀬さんに金丸座内を約1時間かけてじっくり案内いただきました。花道や舞台また舞台裏や楽屋、奈落（舞台や花道の床下）、



ブドウ棚（竹で編んだ格子状の天井）など建物の中を丁寧に説明して下さった岩瀬さんに感謝です。

続いて、中野うどん学校でうどん打ちを体験しました。四国支部の方と一緒に4人1組となり、小麦粉を混ぜ、踊りながら（必ずしも踊らなくてもいいとは思いましたが…）足で踏みこねて仕上げていきます。作ったうどんはお土産にいただきました（もちろん最高に美味しかったです）。その後、うどんの昼食を食べながら、四国支部の方々と懇談をしました。四国支部も範囲が広いため、皆さんが集まるのはなかなか難しいとのことのお話ですが、楽しく活動されているようでした。来年は広島にて行事を共同開催できればいいねという意見もでていました。

四国支部の方は行事前に計画・下見など何度も打合せを行ったとお聞きしました。当支部でも、皆様に気軽に安全に参加いただける行事を考えていきたいと思えます。

